

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	2	選択（教職「情報」は必修）
担当教員			
山下 博通			
添付ファイル			

講義概要	本講義は、高等学校情報科の教員として多様な高校生に「情報」の本質を指導する基本的な能力を身につけることを目的とする。教科情報にかかわる理念、制度、知識・技能、指導法等の情報教育の基本的な事項の理解を深めながら、実践的な指導力や教師としての資質の習得を図ることを目的とする。 本講義では、平成30年告示学習指導要領（令和4年度入学生から学年進行で実施）の改訂ポイントについて触れ、特に「情報Ⅱ」についての模擬授業を通じて情報科教育の研究を進め、教材研究の方法、学習指導の工夫などの授業創りの実際を体験する。 なお、科目の性格上「教科の各科目の内容」自体は扱わない。それらは、各自が専門科目の授業の中で学ぶことを前提としている。		
授業計画	1	情報科教育法Ⅰの振り返り ・情報教育、情報科教育の沿革と基本的な理念、「情報Ⅰ」の全体像（AL①、②） 準備学習：「情報科教育法Ⅰ」での学習内容を振り返り、まとめておく。 課題：情報科導入の背景及び情報教育の変遷についてまとめる。	
	2	「情報Ⅱ」の目標・内容・内容の取扱いの要点解説 ・共通教科「情報」の「情報Ⅱ」について、その目標、単元の構成と関連、内容、内容の取扱いについて（AL①） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」p. 41-42を読み「情報Ⅱ」の目標、単元構成などを説明できるようにする。 課題：「情報Ⅱ」の目標、単元構成、「情報Ⅰ」とのつながりなどについてまとめる。	
	3	情報社会の進展と情報技術に関する指導方法 ・情報社会の進展と情報技術に関する学習活動案の作成と発表（AL⑥、②） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」p. 42-45を精読する。情報社会の進展と情報技術に関する学習活動例を考え、メモを作る。 課題：情報社会の進展と情報技術に関する学習活動例をまとめる。	
	4	コミュニケーションとコンテンツに関する指導方法 ・コミュニケーションとコンテンツに関する学習活動案の作成と発表（AL⑥、②） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」p. 45-48を精読する。コミュニケーションとコンテンツに関する学習活動例を考え、メモを作る。 課題：コミュニケーションとコンテンツに関する学習活動例をまとめる。	
	5	模擬授業① ・1人50分（受講生の人数によって変更される可能性がある）の模擬授業（AL③） ・模擬授業に対する検討会（AL⑤、⑥） ・単元指導計画・学習指導案の見直しと修正（AL④） 準備学習：単元指導計画、学習指導案、板書計画、教材の作成及び模擬授業の練習を行う。 課題：模擬授業を振り返り、修正を行う。	
	6	模擬授業② ・1人50分（受講生の人数によって変更される可能性がある）の模擬授業（AL③） ・模擬授業に対する検討会（AL⑤、⑥） ・単元指導計画・学習指導案の見直しと修正（AL④） 準備学習：単元指導計画、学習指導案、板書計画、教材の作成及び模擬授業の練習を行う。 課題：模擬授業を振り返り、修正を行う。	
	7	模擬授業③ ・1人50分（受講生の人数によって変更される可能性がある）の模擬授業（AL③） ・模擬授業に対する検討会（AL⑤、⑥） ・単元指導計画・学習指導案の見直しと修正（AL④） 準備学習：単元指導計画、学習指導案、板書計画、教材の作成及び模擬授業の練習を行う。 課題：模擬授業を振り返り、修正を行う。	
	8	情報とデータサイエンスに関する指導法 ・情報とデータサイエンスに関する学習活動案の作成と発表（AL⑥、②） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」p. 48-53を精読する。情報とデータサイエンスに関する学習活動例を考え、メモを作る。 課題：情報とデータサイエンスに関する学習活動例をまとめる。	
	9	情報システムとプログラミングに関する指導法 ・情報システムとプログラミングに関する学習活動案の作成と発表（AL⑥、②） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」p. 53-57を精読する。情報システムとプログラミングに関する学習活動例を考え、メモを作る。 課題：情報システムとプログラミングに関する学習活動例をまとめる。	
	10	年間指導計画の作成 ・年間指導計画の策定方法、指導計画の作成と発表（AL⑥、②） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」および「年間指導計画の作成」（授業内で配付する資料）を精読し、自分なりの指導計画を立てる。 課題：グループワークおよび発表を元に自らの年間指導計画を見直し、改善する。	

	11 専門教科情報科の改訂の趣旨、目標、内容構成 ・専門教科「情報」について、その目標、科目構成と関連、内容、内容の取扱いについて（AL①、②） 準備学習：「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編」p.71-97を読み、専門教科情報科の目標、科目構成などを説明できるようにする。 課題：専門教科情報科の目標、科目構成などについてまとめる。 12 模擬授業① ・1人50分（受講生の人数によって変更される可能性がある）の模擬授業（AL③） ・模擬授業に対する検討会（AL⑤、⑥） ・単元指導計画・学習指導案の見直しと修正（AL④） 準備学習：単元指導計画、学習指導案、板書計画、教材の作成及び模擬授業の練習を行う。 課題：模擬授業を振り返り、修正を行う。 13 模擬授業② ・1人50分（受講生の人数によって変更される可能性がある）の模擬授業（AL③） ・模擬授業に対する検討会（AL⑤、⑥） ・単元指導計画・学習指導案の見直しと修正（AL④） 準備学習：単元指導計画、学習指導案、板書計画、教材の作成及び模擬授業の練習を行う。 課題：模擬授業を振り返り、修正を行う。 14 模擬授業③ ・1人50分（受講生の人数によって変更される可能性がある）の模擬授業（AL③） ・模擬授業に対する検討会（AL⑤、⑥） ・単元指導計画・学習指導案の見直しと修正（AL④） 準備学習：単元指導計画、学習指導案、板書計画、教材の作成及び模擬授業の練習を行う。 課題：模擬授業を振り返り、修正を行う。 15 まとめの講義 ・模擬授業内容を学習指導案に反映させる（AL⑥） 準備学習：模擬授業内容から学習指導案を作成する。 課題：模擬授業の内容から作成している学習指導案を完成させる。
授業形態	講義、プリント・映像等による資料提供と説明、教育方法の習得や模擬授業等を取り入れ授業を進める。 アクティブラーニング：①:3回,②:7回,③:6回,④:6回,⑤:6回,⑥:12回
達成目標	教職に就く者として求められる教科教育（情報）について、基本的な知識と授業実践の手法の習得をめざす。 ①情報教育の沿革と現状、在り方を理解する、②教科「情報」の基本的な理念、目標、内容、構成を理解する、③指導計画を作成し、それを基に模擬授業を通じた実践ができる、④他の学生の模擬授業を見て、改善点や修正点などを指摘できる、⑤指摘を受け入れて、自らの指導計画や授業などを改善・工夫ができる。
評価方法・フィードバック	期末課題30%、学習指導案30%、模擬授業40%。 到達目標①～⑤を評価規準として評価する。 グループで作成した学習活動案、各自の単元の指導計画・学習活動案、各自の模擬授業に対して講評および書面でのフィードバックを行う。
評価基準	秀＝90点以上（到達目標①を説明でき、②～⑤全てを満たす授業の設計と実践ができる） 優＝80～89点（到達目標①を説明でき、②～⑤の2つ以上を満たす授業の設計と実践ができる） 良＝70～79点（到達目標①を説明でき、②～⑤の1つ以上を満たす授業の設計と実践ができる） 可＝60～69点（到達目標①を十分ではないが説明でき、50分間の授業の設計と実践ができる） 不可＝59点以下（講義内容について著しく理解が不足、または50分間の授業の設計や実践ができない）
教科書・参考書	教科書： 文部科学省編『高等学校学習指導要領 情報編（平成30年告示）』開隆堂出版 『情Ⅱ702 情報Ⅱ』実教出版
履修条件	教職志望者であること。 該当学年までに履修すべき教職課程の授業すべてを履修していること。
履修上の注意	① 各自で学習指導案・単元指導案および参考資料（手許資料）を作成して、他の受講生にも配付すること。 ② 基本的な知識・態度と授業実践の手法の十分な習得が欠かせない。 ③ 指定した課題についての発表・模擬授業の機会を設け、教員としての適性の有無を観察・評価する。 ④ 履修者数によって模擬授業にあてる回数（週数）を変更する場合がある。
準備学習と課題の内容	必ず授業毎に復習して内容を理解し、自分のものにしてから次の授業に臨むこと。 準備学習に1時間以上、課題（復習）に2時間以上、取り組むこと。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:45%、思考・判断:15%、関心・意欲:15%、態度:10%、技能・表現:15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	